

大鵬相撲記念館

大鵬相撲記念館は、日本で最高の力士の 1 人だった大鵬（1940～2013 年）を記念したものです。この小さな記念館では、相撲の世界や、大鵬の人生と業績について知ることができます。大鵬は、相撲の歴史において最も成功した人物の 1 人です。

大鵬（本名：納谷幸喜）は、5 歳から弟子屈で育ちました。大鵬は、17 歳の時に相撲部屋に入り、21 歳で史上最年少（当時）の横綱になりました。彼の優勝 32 回という記録は、43 年間破られませんでした。15 分間のドキュメンタリーでは、大鵬の偉業が詳しく描かれています（英語版もあります。受付でお問い合わせください）。このドキュメンタリーは、展示を理解する助けとなる背景知識を与えてくれます。

この記念館は、衣装、複雑な刺繍のある化粧回し、トロフィー、優勝額および櫛や刷毛といった日用品など、大鵬の生涯と相撲にまつわる品々を所蔵しています。展示写真には、土俵内外での大鵬の時代が記録されています。ほとんどの説明は日本語です。